

新潟市生涯歯科保健計画におけるライフステージ毎の主な取組状況

基本方針	ライフステージ等	令和3年度の主な取組	主な指標				課題
◆基本方針1 歯と口の健康づくりの推進	乳幼児期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1歳誕生歯科健診 R3: 対象5,369人、受診率92.3%、むし歯有病者率0.0% ○ 1歳6か月児歯科健診 R3: 対象5,579人、受診率100.2%、むし歯有病者率0.5% ○ 3歳児歯科健診 R3: 対象6,262人、受診率99.8%、むし歯有病者率6.0% ※ 新たに歯科保健リーフレットを作成し、各健診時に配付 ※ R2年3月～6月中旬、1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診を中止したが、R2年度内にリカバリーが終了しなかったことから、R3年度健診回数を増やしたり1会場に案内する人数を増やすなどして対応。R3年9月末でリカバリー終了。 ◎ 2歳児歯科健診(資料2-1) R3: 対象5,296人、受診率47.3%、むし歯有病者率1.3% 		策定時 H29年度	現状値 R3年度	目標値 R5年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1歳6か月児健診から3歳児健診(3歳6か月)までの間にむし歯が増える。 ○ かかりつけ歯科医における歯科健診、フッ化物塗布の定着
	園児期 学齢期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歯科健診(園、学校) R3: 年長組(5歳児)(乳歯) 受検者6,051人、むし歯有病者率17.9% R3: 小学校1年生(6歳児)(永久歯) 受検者6,117人、むし歯有病者率1.0% R3: 中学校1年生(12歳児)(永久歯) 受検者6,293人、むし歯有病者率13.0%、一人平均むし歯本数0.27本 ○ フッ化物洗口事業(園、学校) ○ 学校への巡回歯科保健指導(小1～小3:むし歯予防、小4～中3:歯肉炎予防) (小学校全校、秋葉・南・西蒲区の希望中学校へ実施(講義形式)) ○ 小児歯科保健連絡会(関係課・関係団体) ○ 歯科保健講習会(園職員対象)実施 ○ 各区における取組(資料2-4) 		策定時 H29年度	現状値 R3年度	目標値 R5年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 12歳児で歯肉に所見が認められる者の割合は、R3年度、前年度より増加。目標は達成していない。(資料3 図8)
◆基本方針2 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上	成人期	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成人歯科健診 R3: 対象40歳・50歳21,249人、受診率5.9% 糖尿病と歯周病の関係性を周知するポスターを作成し、医療機関(医科・歯科)へ配布 ◎ 歯周病リスク見える化事業(資料2-2) R3: 利用14事業所、517人(ハイリスク者400人(うち歯科受診者16人)) ○ 妊婦歯科健診 R3: 対象者数4,887人、受診率32.2% 受診券を母子健康手帳交付時に配布。受診者へ喫煙と歯周病の関係を啓発。 ○ 市政さわやかトーク宅配便(テーマ「知っていそうで知らない?!口の中」) ◎ 市民口腔保健調査(資料2-3) 		策定時 H29年度	現状値 R3年度	目標値 R5年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 40歳で進行した歯周炎を有する者の割合は、目標を達成していない。(資料3 図11) ○ 20歳以上で過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合は、若い世代ほど低い。(資料3 図12) ○ 20歳以上で歯間部清掃用具を使用している者の割合は増加傾向にあるが、目標を達成していない。また、若い世代ほど歯間部清掃用具の使用率が低い。(資料3 図13)
	高齢期	<ul style="list-style-type: none"> ◎ お口の健康長寿健診(資料2-2) R3: 対象76歳・80歳15,417人、受診率6.6% ○ 運動器の機能向上・栄養改善・口腔機能向上事業(複合教室) R3: 933人 ○ 各区における取組(資料2-4) 		策定時 H29年度	現状値 R3年度	目標値 R5年度	
◆基本方針3 歯と口の健康づくりを推進するために必要な社会環境の整備	障がい(児)者 要介護者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟市口腔保健福祉センター R3: 特別診療患者数1,769人 ○ 在宅要介護者歯科保健事業 (新潟県後期高齢者医療広域連合事業、受託者:新潟市歯科医師会) 		策定時 H29年度	現状値 R3年度	目標値 R5年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問歯科診療を実施する歯科医院の数減少。
			① 3歳児でむし歯(乳歯むし歯)がない者の割合	90.2%	94.0%	90%以上	
			④ かかりつけ歯科医を持つ3歳児の親の割合	45.9%	54.6%	48%以上	
			⑥ 12歳児(中学校1年生)でむし歯がない者の割合	79.7%	87.0%	82.1%以上	
			⑧ 12歳児(中学校1年生)で歯肉に所見が認められる者の割合	18.4%	19.2%	16.6%以下	
			⑫ 40歳で進行した歯周炎を有する者の割合	61.3%	61.3%	50%以下	
			⑯ 20歳以上で過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合	(H30) 53.8%	(R2) 58.3%	65%以上	
			⑰ 20歳以上で歯間部清掃用具を使用している者の割合	(H30) 57.6%	(R2) 59.5%	65%以上	
			⑲ 訪問歯科診療を実施する歯科医院の数	(H29.10) 330/499 医療機関 (66.1%)	(R4.10) 309/503 医療機関 (61.4%)	増加	

2歳児歯科健診について

1歳	1歳6か月	2歳	3歳	3歳6か月
1歳誕生 歯科健診 (集団)	1歳6か月児 歯科健診 (集団)	2歳児 歯科健診 (個別)		3歳児 歯科健診 (集団)

※ 各歯科健診にて希望者に対しフッ化物塗布実施

これまで任意利用の「むし歯予防事業」を実施していたが、乳歯が生え揃う2歳児全てを対象とした「2歳児歯科健診」を、令和3年7月より開始。



1. 目的

- 乳歯むし歯の予防と歯科分野から口腔機能の発育を支援するため、2歳児一人ひとりに合った口腔清掃や食行動等適切な歯科口腔保健行動の定着を促すため歯科健診を実施。
- 本事業をきっかけに、かかりつけ歯科医によるプロフェッショナルケアを定期的に行うことで、生涯にわたる歯科口腔保健の向上を推進する。

2. 対象

- 2歳～2歳6か月児

3. 実施場所

- 委託歯科医療機関

4. 内容

- 歯科健診
- 問診・受診結果を踏まえ、市作成冊子「幼児食と歯のおはなし」を活用し、口腔機能の発育に関する内容も含め、個々に応じた歯科保健指導を実施
- 希望者へのフッ化物塗布



5. 自己負担

300円

6. R4状況

(8月末時点)

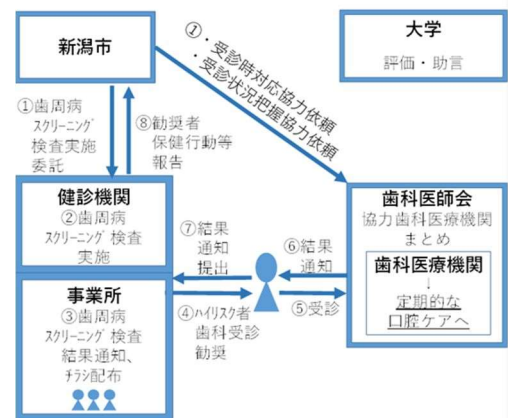
受診率	フッ化物塗布利用状況
53.9% (1,241/2,303人)	98.1% (1,218/1,241人)

成人期・高齢期の歯科保健について

40歳未満	40歳	50歳	60歳	70歳	76歳	80歳
歯周病リスク見える化事業 (職場健診時等)	成人 歯科健診 (個別)	成人 歯科健診 (個別)			お口の 健康長寿 健診 (個別)	お口の 健康長寿 健診 (個別)

1. 歯周病リスク見える化事業(R3年度～)

- 【目的】 ○ 若い世代からの歯周病予防の推進し、適切な歯科保健行動の定着を図る。
- 事業所における従業員の歯科保健の取組支援
- 【対象】 ○ 市内事業所、各種団体の40歳未満の従業員
- 【方法】 ○ 職場健診時等に歯周病リスクをスクリーニング
 ・検査者全員：歯周病のリスクや予防方法を啓発
 ・ハイリスク者：歯科医療機関受診を勧奨
- 【費用】 ○ 無料
- 【R4状況】 ○ 申込み：20事業所、862人(9月末時点)



2. 成人歯科健診

- 【目的】 ○ 歯周病の早期発見・治療、歯周病予防
- 【対象】 ○ 40歳、50歳
- 【内容】 ○ むし歯・歯周病の検査、顎関節、口腔粘膜などの検査
 ○ 希望制で歯のクリーニング体験(上の前歯4本の前面)
- 【費用】 ○ 500円(国保加入者 250円)
- 【R4状況】 ○ 受診率 2.9%(8月末時点)

3. お口の健康長寿健診

- 【目的】 ○ むし歯、歯周病及び口腔機能の健診を行い、口腔機能の維持・向上を図る
- 【対象】 ○ 76歳、80歳(R3年度より追加)
- 【内容】 ○ むし歯・歯周病の検査
 ○ 嚥下機能、咀嚼機能、舌の機能、口腔乾燥状況の検査
- 【費用】 ○ 無料
- 【R4状況】 ○ 受診率 0.7%(8月末時点)

【概要】

1. 目的

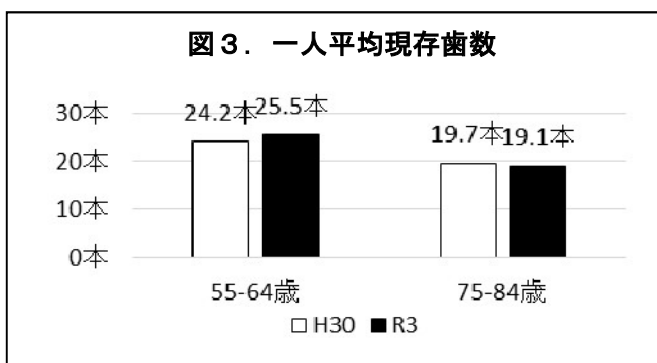
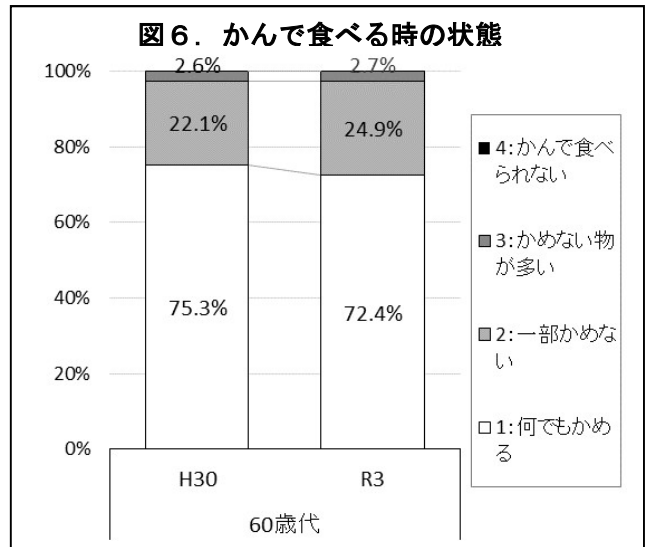
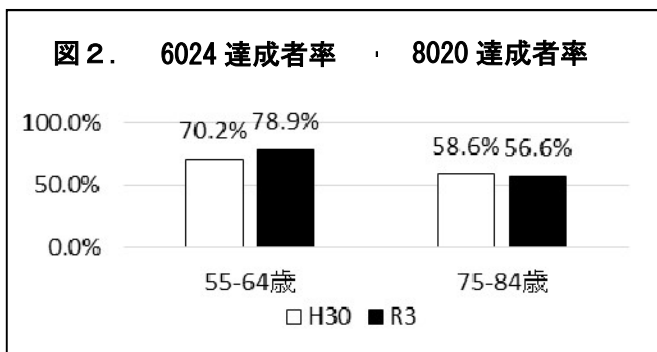
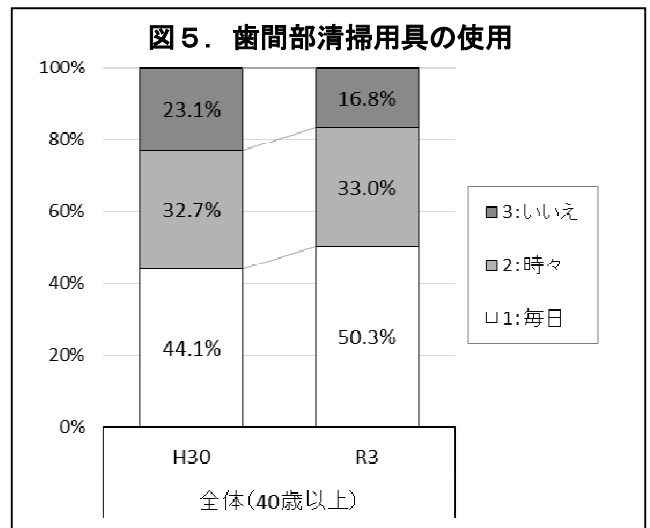
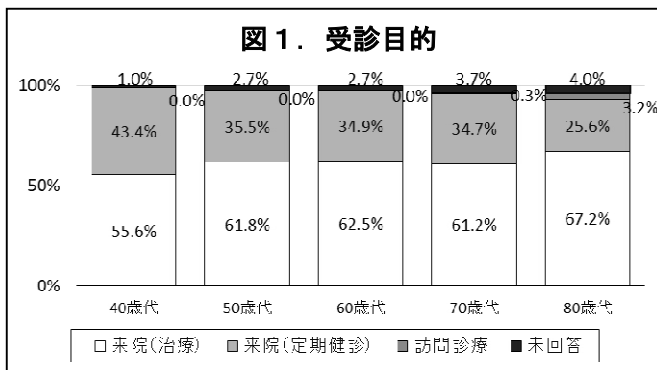
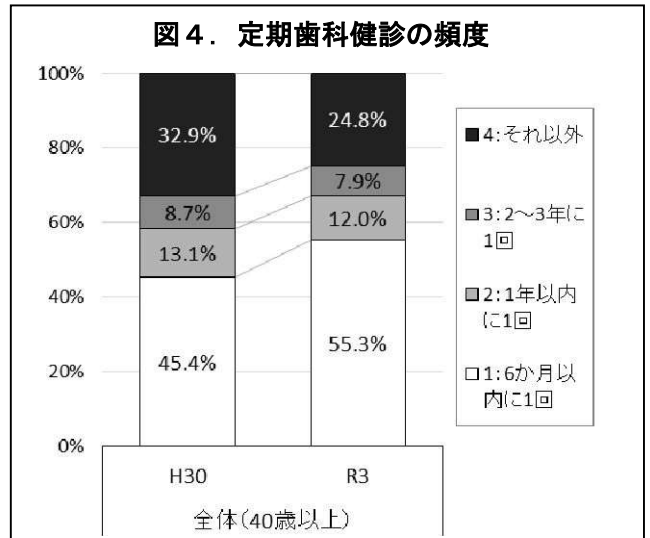
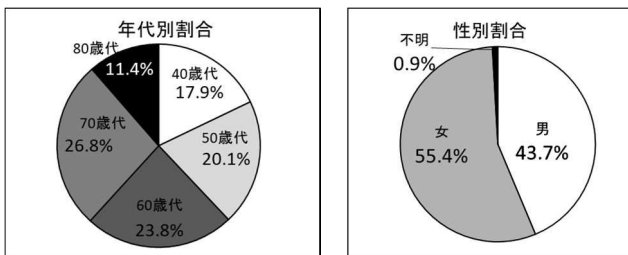
成人期から高齢期の新潟市民の現在歯数、歯周組織の状況、摂食嚥下の状況及び歯科保健行動について実態を把握する。

2. 調査の設計

- (1)対象：本市に住所のある、40歳～89歳の男女で、歯科医療機関を受診する者
- (2)方法：新潟市歯科医師会の45医療機関において、6月4日(金)～10日(木)の歯と口の健康週間中の計4日間の受診者(治療中、定期健診)に対し、調査を実施。
- (3)期間：令和3年6月4日(金)～10日(木)のうち任意の平日3日間と土曜日(6月5日)

【結果】

評価件数 1,096 件
(回収件数 1,113 件、無効 17 件)



各区における歯科保健の取組

区名	主な取組内容(歯科健診以外)
北	(1) <u>介護予防の取組</u> フレイル予防教室参加者のフォローアップとして、お口の健康に関する講話を実施。
東	(1) <u>歯っぴーすまいるプロジェクト</u> ①こども食堂における歯と食育の啓発・健康相談 ②保育園、認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブでの取組 (むし歯予防教室、歯みがきチャレンジカード(アンケート付き)の活用)) ③歯と口の健康づくりについての啓発 ④歯科医師会、養護教諭との連携会議 (2) <u>親子歯科健康教室</u> 子育て支援センターにて、親子に向けてむし歯予防についての健康教室を実施
中央	(1) <u>親子歯科健康教室</u> 子育て支援センターや公民館(親子が集う会にて)での育児講座等で、「健口生活についての教室」を実施。 (2) <u>レッツトライ!糖尿病予防セミナー</u> 糖尿病の正しい知識、予防方法の啓発事業において、歯周病と糖尿病の関係性についての内容を盛り込み対応。
江南	(1) <u>親子歯科健康教室</u> 子育て支援センター、保育園等にて、親子に向けてむし歯予防についての健康教室を実施。 (2) <u>成人歯科健康教室</u> 地区の公民館等にて対象の地域住民に向けて、歯と口の健康に関する講話を実施。 (3) <u>介護予防の取組</u> 地域の茶の間等におけるフレイル予防教室にて、お口の健康に関する講話を実施。
秋葉	(1) <u>1歳誕生歯科健診受診者への育児相談</u> 同健診の場で、必要な人に対し、保健師、栄養士が相談対応
南	(1) <u>1歳誕生歯科健診の場を活用した、健康づくり支援(正しい食習慣取得の支援)</u> 同健診来所者全員に対し、保健師又は栄養士が面談。離乳食や、卒乳についての相談に対応。 (2) <u>区独自で“歯みがき”や“食生活!”についてのリーフレットを活用</u> 1歳誕生歯科健診、1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診時に配布
西	(1) <u>親子歯科健康教室</u> 子育て支援センターにて、親子に向けてむし歯予防についての健康教室を実施 (2) <u>介護予防の取り組み</u> ①地域からの依頼を受けて自治会館等にて「栄養」「歯科」「運動」のメニューを組み合わせ健康教育を実施。 ②口腔機能向上に関する講話を単回教室型や複数回コース型で実施。
西蒲	(1) <u>にしかん健康プロジェクト</u> ①区で作成した小冊子をもとに、希望した団体(子育て支援センター、園、学校)や地域の集まり(依頼があった健康相談や高齢者健康相談会、コミュニティー協議会など)に対し、お口の健康に関する講話を実施。 ②安産教室や1歳誕生歯科健診と同時実施している栄養相談において、同冊子を使用し、お口の健康について周知する。